

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
慶生会KIDSプラス大東		2026年 5月 1日				
	チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	26	0	0		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	22	0	4	・子どもの特性に合わせて配置している。	・集団療育時、職員と子どもが1対1以上の方が質の向上、リスク管理の点で望ましい。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	26	0	0	・子どもが落ち着いて過ごすことができるように、相談室やクールダウンの部屋を設けている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	25	0	1		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	26	0	0		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	23	0	3	・毎日のミーティングで課題を確認している。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	25	0	1	・年1回のアンケートを実施し、結果を掲示している。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	26	0	0		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	16	10	0	・第3者委員会は設置していないが、ご意見箱を設置し、ご意見を受け付けている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	26	0	0		
11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	26	0	0			
12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	26	0	0			
13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	26	0	0			
14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	26	0	0			
15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	25	0	1	・事業所や外部で実施した知能検査等フォーマルなアセスメントを活用するとともに日々の行動観察を共有している。		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	25	0	1	発達段階や子どもの興味関心に合わせた支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	25	0	1	日々のミーティングで話し合っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	25	0	1	・SNS等を見て、新しいことを取り入れられるように心掛けている。 ・子どもが興味のあるような活動を話し合っていて決めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	26	0	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	25	0	1	・その子どもに合った遊びを考え、どのタイミングで提案をするのかを話している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	25	0	1	・終礼でその日の療育の中での反省点や気になったことを共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	26	0	0	・日々、必ず記録ノートの記入をしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	26	0	0	・子どもの興味がありそうな活動を話し合っていて決めている。 ・定期的に職員同士で話し合っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	25	0	1	子どもに合わせて参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	23	0	3	・サービス調整会議等の機会を利用したり検査結果等の書面を通して間接的に連携している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	23	0	3	・児童発達支援センターや相談支援を通じて、間接的にやっている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	20	0	6	・相談支援事業所の開催する担当者会議で行なっている。	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	17	0	9	・必要に応じて連携を図り、助言や意見を聞いている。	
	29	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	26	0	0		
	30	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	24	0	2	・年3回保護者勉強会を行い、保護者の学びの機会を提供している。	
31	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	25	0	1	・契約時に行っている。		
32	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	25	0	1	・アセスメントシートやモニタリング、日々の相談で確認している。		
33	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	25	0	1			

保護者への説明等	34	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	26	0	0	・来所時に必要に応じて行っている。	
	35	保護者勉強会&交流会等により保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだいについての相談ができる、工作や集団療育などきょうだいも参加できるイベントを開催するなど、きょうだいへの支援がされているか。	25	0	1	・わくわく教室やラボ、スポーツなど集団療育で行っている。	
	36	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	26	0	0		
	37	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	25	0	1	・インスタグラムを使用して、子ども活動や集団活動の様子を発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	26	0	0		
	39	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	26	0	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	17	0	9	・野崎観音まつりでのお店屋さん体験やだんじりに参加している。	
非常時等の対応	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	24	0	2	安全計画を立て、一年を通じて計画的に実施している。	
	42	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	24	0	2	安全計画を立て、一年を通じて計画的に実施している。	
	43	事前に、服薬や既往歴、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	22	0	4	・アセスメントシートで確認。	
	44	食物アレルギーのあるこどもについて、保護者と連携し医師の指示書に基づく対応がされているか。	17	5	4	・食事提供をしていない。	・年度初めの保護者のアセスメントシートで確認しているが、クッキングのたびに確認していく。
	45	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	24	0	2	毎月の安全点検を実施し、安全管理に配慮している。	
	46	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	25	0	1		
	47	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	25	0	1	・終礼で話し合い、管理者ミーティングにて事業所間でも共有している。	
48	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	25	0	1	年2回の法人内研修と動画研修を行っている。		
49	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	23	0	3	・対象児はいないが身体拘束適正化委員会で組織化、マニュアル化している。	・対象児童がないので、その際に実施する必要がある。	